

事業名

劇団コホミン「月の王国」

実施施設

我孫子市湖北地区公民館（コホミン）

対 象		参加人数(人)	募集人数(人)	参加率(%)
学び舎コホミン 寺子屋コホミン 川村学園女子大学		20	20	100%
材 料 (主なもの)		講 師 名		事業内容
ポスター印刷		川村学園女子大学 (演出)千野 裕子		・湖北地区公民館(コホミン)30周年記念イベントの一環として劇団コホミンによる演劇を実施した。出演者は、主催講座の「学び舎コホミン」「寺子屋コホミン」の受講者、そして連携先の川村学園女子大学の学生で構成した。 「学び舎コホミン」は、湖北特別支援学校卒業生が参加している講座である。 「寺子屋コホミン」は、市内の小学生に川村学園女子大学の学生が勉強の手伝いをする講座である。 【練習日程】 第1学習室又はホール ※川村学園女子大学の学生は専門講座の中で 学内練習もした。 6/12 初顔合わせ、台本通し読み 7/23 台本通し読み 8/21.9/10. たち稽古 10/1 たち稽古、ポスター写真撮り 10/22.29. ホール舞台での通し練習 11/4 舞台仕込み 11/5 場当たり、ゲネプロ 11/6 本番
持込み照明機材レンタル				
小道具材料		脚本 荒川 大		
衣装材料				
舞台美術材料		舞台監督 村田 夏海		
		その他		
評価				
準備段階	コホミンホールは、千葉県高校演劇のメッカと言われている。春・秋の定期発表会等で頻繁に使用されている。 30周年記念イベントとして、ホールでの演劇発表をしたいと5年前からの構想があった。出演者を誰にするか、誰に脚本や演出を頼むかで悩んでいた。川村学園女子大学の先生方との話合いの中で方向性が生み出された。			
実施段階	主催講座の中から参加者を募った。障害者や小学生なので保護者の理解と協力が必要であった。川村学園女子大学の先生が演出をされて、学内でも練習時間を取ってくれた。大道具や衣装代等で高額の出費になることが分かった。関係者が一丸となって協力できたことで完成できた。			
参加者の反応	招待券を多く配布したこともあり、入場者数は178名。 その内、初めての来館者が約6割であった。アンケート集計では、「障害を持っている人なのに自分が出来る役を頑張った」「劇のクオリティが高く素晴らしい企画だ」等があった。			
告知方法(広報活動)				
・広報あびこに掲載 ・館内でのポスター掲示とチラシ配布 ・他公民館・公共施設でのチラシ配布 ・HP				

当日の様子

